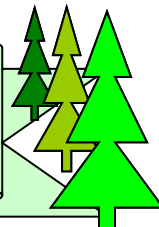


街路樹



教員一人一人の授業力向上は校内の組織力から



全ての児童生徒の支援のために ～特別支援教育～

明星大学客員教授の細水先生が筑波大学附属小学校に勤務されていた当時、こんな話をしてくださいました。「筑波大附属小学校の授業研究の事後研究会は必ず全員が、自分の思ったことを自由に遠慮なしに言い合う」というのです。教員の向上心があるので、遠慮なしに言い合っても、教員間の関係が気まづくなったりはせず、それぞれの立場での意見や考え一つ一つが授業改善の意識につながっているのだと感じました。また、細水先生は「授業でうまくいかないのは失敗じゃない、次のステップにすれば成功なんですよ」ともおっしゃっていました。

教員一人一人の授業力向上は、子どもたちの学力向上に直接的に結びつくものであり、教員にとって避けては通れない課題です。授業の中で生き生きと学び合う子どもたちの姿、授業を終えた後の充実感・満足感いっぱいの子どもの姿を見ると、教員の授業力向上は、すべて、子どもたちの成長につながるものだと考えます。

中教審答申の中でも、「かつてのように先輩教員から若手教員への知識・技能の伝承をうまく図ることのできない状況があり、継続的な研修を充実させていくための環境整備を図るなど、早急な対策が必要である。」と述べられ、教員研修の重要性が示されています。教員研修の拠点となる総合教育センター所員も、先進校視察や講師を招いて自主研修を行うなど、よりよい研修や指導ができるよう努めております。各学校においても、教員一人一人の授業力向上に向けた組織力が試される時が来ているのだと思います。できることからチームで取り組み、ぜひ授業力向上に向けての体制づくりを！

中教審教育課程部会『次期学習指導要領等に向けたこれまでの審議のまとめ』においては、「全ての通常の学級において、発達障がいを含む障がいのある子どもが在籍している可能性があることを前提に、一人一人の子どもの障がいの状態や発達の段階に応じた指導や支援を一層充実させていく必要がある」としていません。そのため、全ての教科において、一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細かな指導や支援ができるように、各教科等の学びの過程において考えられる困難さに対する意図的な指導の工夫、手立ての例を具体的に示していくことが必要であると示されています。

文科省特別支援教育調査官の丹野哲也氏は、特別な支援が必要な児童に関わる際、安心して学習に取り組ませるために、全ての授業において共有しておきたい指導上の留意点として、以下の視点を挙げています。

- ①学習活動の見通しをもたせる
- ②困った時やできない時のルールを決める
- ③教師が他の児童のモデルとなるようなかわり方をする

丹野氏はまた、児童の自己肯定感を伸ばしていくために、常に児童の視点から、本人の気持ちを汲みながら慎重に検討を進めていく繊細さが教育には求められている、とも述べています。

人は皆、もっている強い能力を生かし、弱い能力は強い能力で補ったり周囲の援助を受けたりして共生しています。特別支援教育は特別な支援が必要な児童生徒のための支援という枠組みを外し、全ての児童生徒が自己理解・自己実現を図るための支援と考え、一人に対するきめ細かな支援技術の獲得は、多くの児童生徒へも波及できる支援技術であることが見えてきます。



研修講座のお知らせ

<教育実践研究発表大会のご案内>

本大会は、今日の課題についての実践研究発表を通してこれからの学校における教育実践に寄与することを目的として開催しております。

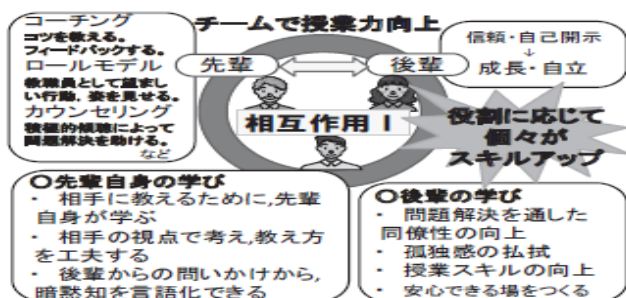
午前部では、「よい授業とは」をテーマとしたパネルディスカッションや、自主的研究団体や市内小・中学校等の優れた実践や研究を共有する場の設定を予定しております。

午後部では、前筑波大学附属小学校副校長で、現明星学苑教育支援室長兼明星大学客員教授の細水保宏先生による講演「未来を生き抜く子ども達を育む授業改革に向けて」を予定しております。

日頃授業に対して抱えている悩みについて、一緒にお考えいただくとともに、明日からの、よりよい教育実践に向けてのヒントをお持ち帰りいただけると幸いです。多くの先生方のご参加を心よりお待ちしております。

40分のできる授業リフレクション!!

- 1 授業者は、授業参観の視点に即して自評を述べる。 5分
- 2 板書や各自の授業記録をもとに疑問を出し合い、代案を考える。 20分
 ・授業者の立場から見た、意思決定上の疑問
 ・参観者の立場から見た、意思決定上の疑問
- 3 代案をもとに模擬授業を行う。 10分
 (代案を出して、参加者全員で授業をつくる。)
- 4 まとめる。(研修主任・教科主任・管理職) 5分
 研究主題・授業力向上の視点・教科テーマ等と関係付けて!
 チーム事後実践の内容を決め、ポイント授業参観の視点を焦点化しましょう。



<福島県教育センター「校内研修改善に向けた4つの提案」より>

☆センターHPが新しくなりました。各研修の様子がアップされていますので、ぜひご覧ください。また、HP右側のカレンダーからは、各研修の持参物などが確認できます。

